

1. 単元名 もっと なかよし まちたんけん

2. 目標

○地域の人と交流する活動を通して、自分の生活が地域の人や場所と関わっていることや地域の人と関わることの楽しさが分かり、親しみや愛着をもち、人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。

3. 評価規準

		生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
単元の 評価規準		春のまち探検などで関わった人や場所と繰り返し関わることに関心を持ち、それらに親しみや愛着をもって話したり、いっしょに活動したりしようとしている。	もう一度関わりたい場所や人、いっしょにしてみたい活動を決め、地域で生活したり働いたりしている人々と自分たちとのかかわりについて考え、それをすなおに表現している。	地域の人や場所が自分の生活と関わっていることや、伝え合う楽しさが分かり、それらができるようになった自分に気付いている。
小単元 における 評価 規準	1	①地域の人々や様々な場所に関心を持って関わろうとしている。	①相手や場に応じた行動について考え、活動の計画を立てたり約束を決めたりしている。 ②行きたい場所や会ってみたい人、してみたいことを決めている。	①地域には様々な場所があり、そこには幼児や高齢者など多様な人々が生活していることに気付いている。
	2	②地域の人々の様子や様々な場所について、見たり、調べたりしようとしている ③友達の発表に感想を言ったり質問をしたりして意欲的に聞いている。	③その場の状況を捉え、危険などについて考え、予測している。 ④伝える相手を想定して、伝えたいことを自分なりに選んでいる。 ⑤地域の人との交流をもとに、比べたり関連づけたりしながら自分なりに振り返っている。	②地域には様々な仕事があり、それらの仕事に携わっている人がいることに気付いている。

3	<p>③ 地域の人と楽しく伝え合い，繰り返し交流しようとしている。</p> <p>④ 適切なあいさつや言葉遣いに気を付けて，交流しようとしている。</p>	<p>⑥ 活動したことをもとに調べたり，たとえたりして，分かりやすくまとめようとしている。</p> <p>⑦ 互いの発表した事柄を比べたり関連づけたりしながら，自分なりの考えを伝えている。</p>	<p>③ 自分のことや伝えたいことが地域の人に伝わる楽しさが分かっている。</p> <p>④ 地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所が，自分たちの生活と関わっていることが分かっている。</p> <p>⑤ 親しみや愛着のある場所が増えたり，人々と適切に接したりすることができるようになった自分に気付いている。</p>
---	---	--	--

4. 単元設定の理由

(1) 単元について

本単元は，学習指導要領解説の内容(3)「自分たちの生活は地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所とかかかわっていることが分かり，それらに親しみや愛着をもち，人々と適切に接することや安全に生活することができるようにする。」と(8)「自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動を行い，身近な人々とかかわることの楽しさが分かり，進んで交流できるようにする。」に基づいて単元を構成する。

本単元は，1学期の単元「どきどきわくわくまちたんけん」につながる単元であり，再度まち探検に出かけ，地域の人々や場所とかかわる活動を中心に学習を進めていく。1学期に出会った地域の人々や場所とのかかわりを深めたり，新たな場所や人々との出会いでかかわりを広げたりする中で，地域のよさに気づき，自分たちが生活している地域の人や場所への愛着を深めることをねらいとしている。また，学習活動を通して地域の人々と適切に接したり，地域で安全に楽しく生活したりしようとする態度を育てることもねらいの1つとしている。さらに，「〇〇さんは，いつも頑張っていてすごい」や「わたしも〇〇さんのようになりたい」のように，地域の人への憧れを持ち，児童が意欲をもって生活するきっかけとしたい。

(2) 児童について

<個人情報保護のため省略>

(3) 指導にあたって

研究の視点より、**豊かなかかわり合いの工夫**と**学習内容の再構築**について、以下のよう
に指導していく。

豊かなかかわり合いの工夫

①対話的な活動

○インタビュー活動

本単元では、地域の人とのかかわりを通して、ねらいに迫っていく。地域の人へのインタビュー活動は、探検に出かけるたびに行う。始めの探検は、クラス全員で「はない茶屋（定期的に地域の人が集うお茶会）」へ出かける。はない茶屋は1学期の探検から気になっており、児童にとっても関心の高い場所である。そこに参加することで、楽しい雰囲気の中、町の人とのかかわることができる考える。また、インタビュー活動をする際には、2人組で行うことで、安心して町の人と話すことができるようにする。インタビュー活動を通して、はない茶屋を主催する人や、そこに来られる人について知り、頓原に住む人や働く人への関心を持つきっかけとしたい。

はない茶屋を受けて、もっと詳しく知りたい人や、会ってみたい人を個人で決めて、会いに行く。会う前には、その人について知っていることや、聞いてみたいことをあらかじめ出しておくことで、はやく会って確かめたいという探検への意欲が持てるようにする。はじめの探検では、仕事の一部をさせてもらったり、得意なことを教わったりするなどの体験活動ができるようにする。実際に体験をすることで、会いに行った人への関心や親しみがより持てるようにするためである。2回目の探検では、体験をしてみてもっと聞きたくなったことや、他グループから出た疑問を解決するために、インタビュー内容を考えてから探検に出かける。1回目よりも2回目の方が、地域の人と話しやすくなったり、積極的に関わったりと自分たちの成長にも気付けるよう、声かけをしていく。

また、地域の人へは事前に打ち合わせを行い、お互いの願いや思いを共通理解しておく。こちらのねらいを伝えるとともに、教師が地域の人々の思いや願いも把握しておくことで、子どもたちへインタビューの視点をアドバイスできるようにする。さらにインタビューで児童の関心がより高まったり、親しみが持てたりするようにするよう、地域の方へ事前にインタビュー内容と、話していただきたいことを打ち合わせしておくようにする。

○個人

探検後には、個人で振り返りの時間を設ける。会いに行った人について思い出しやすくなるよう、写真や探検メモを見返すようにする。絵日記形式のワークシートで振り返ることで、文章が書きづらい児童も絵で表現ができるようにする。絵や文章から、教師が質問をすることで、より詳しく探検の振り返りができるようにする。探検メモや、振り返りワークシートは、「すてきブック」としてファイルに綴じていく。グループで話し合いをするときや、確認をするときいつでも振り返ることができるようにしておく。

○ペア・グループ・全体

探検後には、会いに行った人について分かったことをウェビング図にしてまとめていく。ウェビング図でまとめることで、分かったことを分類したり関連付けたりして、会いに行った人への理解が深まったり、自分の生活との関わりに気付いたりすることをねらっている。また、視覚的にまとめていくことで分かっていることに偏りがあることに気付き、もっと知りたいことは何かを考える手立てとする。

クラス全体に発表する際には、友達が会った人についても感心が湧くように写真や映像も交えて紹介する。また、友達が会いに行った人について不思議に思ったことや知りたいと思ったことも積極的に発言させ、次の探検で聞いて確かめるようにする。

単元の最後には、それぞれの人を比べたり、あわせて考えたりし、考えを認めたり、広げたり、深めたりすることができるように支援する。そのために、子どもたちの発言から分類・比較するなどの構造的な板書の工夫により、子どもたちが全体で話し合う手立てとする。

学習内容の再構築

本単元では、探検を振り返る時間を以下のように段階的に設けている。

探検の振り返り 4つの段階

①個人	②グループ	③全体	④個人
探検で分かったことを付箋に書き出す	ウェビング図を使ってまとめる	分かったことを発表し、感想を伝え合ったり質問しあったりする	もっと調べたいことや、新たに気づいたことをまとめる

4つの段階の中の最初と最後に個人の思いや考えを表現していく過程を盛り込むことで、自分の考えに立ち返りながら活動できるようにする。同じグループの意見や他のグループの考えを聞いて、比べたり関連づけていたりする中で、だんだんと気付きの質が高まっていくことをねらっている。

○本時について

本時では、4つのグループ（①電気屋の橋村さんチーム ②はない茶屋のとやばらさんチーム ③公民館の服部さんチーム ④保育所の景山さんチーム）がそれぞれ調べた人について分かったことを発表し、気づいたことを伝え合う活動を行う。本時は、上記の4つの段階における、③分かったことを発表し、感想を伝え合ったり質問しあったり

するにあたる部分である。

発表は、互いが意見を言いやすい雰囲気にするために床に円になって座って行う。また、自信を持って発表ができるよう、発表の形式（言う内容、順番）を全体でそろえておく。発表に対する感想や質問を伝え合う際には、イラストカードを使うことで、観点を明確にする。教師も児童と同じ目線で質問したり感想を伝えたりすることで、児童が自分の考えをもつ際の助けとなるようにする。

4 グループ全てが発表した後は、4人を比べたり関連付けたりしていく活動をする。発表内容が比較しやすいよう、4枚の模造紙を中央に集める。児童から出た意見について付箋を集めグルーピングし、共通した思いや願いを視覚的に捉えやすくする。意見が出にくい場合は、人々の共通した思いやそれぞれ別の思いに気付かせるために、ピンクの付箋に着目するよう声をかける。友達の意見や発表内容から想像した意見も認め、4人の思いや願いに気付けるようにする。新たな疑問が出てきたときは、全員に問いかけてみたり、手紙で聞くことを提案したりして今後の学習につなげていく。

5. 単元の指導計画と評価計画（全18時間）

小単元	主な学習活動	評価 [評価方法]
1 どんな 人がい るか な？	<p>[小単元の目標]自分たちの地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所に関心を持ち、会ってみたい人や行ってみたい場所を選択することができるようにする。</p> <p>○1学期の探検を振り返り、町の気になるところを話し合う。(1)</p> <p>○“はない茶屋”でインタビューをする(2)</p> <p>○はない茶屋でであった人を伝え合う。(1)</p> <p>○もっと調べてみたい人や会ってみたい人を決める、計画を立てる。(1)</p>	<p>関①地域の人々や様々な場所に関心を持って関わろうとしている。 [発言・行動観察・探検メモ]</p> <p>気①地域には様々な場所があり、そこには幼児や高齢者など多様な人々が生活していることに気付いている。[探検メモ・発言]</p> <p>思①相手や場に応じた行動について考え、活動の計画を立てたり約束を決めたりしている。[行動観察]</p> <p>思②行きたい場所や会ってみたい人やしてみたいことを決めている。[発言]</p>
2 気なる 人に会 いに会 行こう	<p>[小単元の目標]地域で働いている人や暮らしている人に会いに行き、見学したり一緒に活動したりすることを通して、自分たちの生活は様々な人や場所と関わっていることが分かるようにする。</p> <p>○地域の人に会いに行く。(2)</p>	<p>関②地域の人々の様子や様々な場所について、見たり、調べたりしようとしている。 [探検メモ・発言]</p> <p>思③その場の状況を捉え、危険などについて考え、予測している。[行動観察]</p>





	<p>○見学したこと，一緒にしたことをグループでまとめ，発表の準備をする（２）</p> <p>○「会いに行った人についてわかったこと」をクラスで発表し合い，感想や質問を伝え合う（１）</p>	<p>気②地域には様々な仕事があり，それらの仕事に携わっている人がいることに気付いている。[探検メモ・ウェビング図]</p> <p>思④伝える相手を想定して，伝えたいことを自分なりに選んでいる。[発言・発表メモ]</p> <p>思⑤地域の人との交流をもとに，比べたり関連づけたりしながら自分なりに振り返っている。[発言]</p> <p>関③友達の発表に感想や質問をして意欲的に聞いている。[行動観察]</p>
<p>3 親しくなった人のことをもっとくわしくしらべよう</p>	<p>[小単元の目標]体験活動やインタビューを通して，地域の人と交流することの楽しさや自分の生活と関わっていることが分かるようにする。地域に親しみや愛着のある場所が増えたり，人々と適切に接したりすることができるようになった自分に気付き，地域の人々や様々な場所に繰り返し関わろうとすることができるようにする。</p> <p>○聞きたいこと，知りたいことを整理し，探検の準備をする。（１）</p> <p>○地域の人に会いに行く。（２）</p> <p>○探検で分かったこと・気付いたことをグループでまとめ，発表準備をする。（２）</p> <p>○「会いに行った人についてわかったこと」をクラスで発表し合い，感想や質問を伝え合う。（１）…本時</p> <p>○活動を振り返り，手紙を書く（２）</p>	<p>関④地域の人と楽しく伝え合い，繰り返し交流しようとしている。[絵日記・手紙・発言]</p> <p>関⑤適切なあいさつや言葉遣いに気を付けて，交流しようとしている。[行動観察・発言]</p> <p>気③自分のことや伝えたいことが地域の人に伝わる楽しさが分かっている。 [行動観察・絵日記]</p> <p>思⑥活動したことをもとに，比べたり，たとえたりして，分かりやすくまとめようとしている。[ウェビング図・発言]</p> <p>思⑦互いの発表した事柄を比べたり関連づけたりしながら，自分なりの考えを伝えている。 [発言]</p> <p>気④地域で生活したり働いたりしている人々や様々な場所が，自分たちの生活と関わっていることが分かっている。[発言]</p> <p>気⑤親しみや愛着のある場所が増えたり，人々と適切に接したりすることができるようになった自分に気付いている。[手紙・発言]</p>

7. 本時の学習（15 / 18）

（1）ねらい

○互いの発表した事柄を比べたり関連づけたりしながら，自分なりの考えを伝える。
[活動や体験についての思考・表現]

（2）展開

学習場面と児童の取組	教師の支援○ と評価☆
<p>1. めあて・流れを確認する</p> <p>㊦ 会に行った人のすてきをつたえあおう</p>	<p>○前時までの学習を想起できるよう，写真を提示しておく。</p> <p>○見通しを持ちながら学習に参加できるよう，流れを提示しておく。</p>
<p>2. 「会った人についてわかったこと」を発表しあう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>新たにわかったことをみんなに伝えあいましょう。</p> </div> <p>○会った人についてまとめた模造紙をみんなで囲み，発表をする。 〈発表の仕方〉</p> <p>①新たに分かったことを発表し終えたら，前時までの学習を活かしながら模造紙にピンクの付箋を貼っていく。</p> <p>②発表後に質問や感想など意見交換を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">イラストカード</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>～がわかった・納得</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>どうして？・ふしぎ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>うれしい・～したい</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>すごい！すてき！</p> </div> </div> </div>	<p>○聞くとき，発表するときのポイントをおさえてから発表を行う。</p> <p>○床に円になって座ることで意見を発表しやすい雰囲気にする。</p> <p>○教師も児童と同じ目線で質問したり感想を伝えたりすることで，質問の仕方や感想発表の仕方のモデルを示す。</p> <p>○新たな疑問が出てきたときは，全員に問いかけてみたり，手紙で聞くことを提案したりして今後の学習につなげていく。</p> <p>○発表の観点を明確にするためにイラストカードを活用する。</p>
<p>3. それぞれを比べて気付いたことを発表する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>4人のすてきを比べてみて，同じところを似ているところを見つけてみましょう。</p> </div> <p>○同じところ似ているところを見つける。 ・○○さんと○○さんは長生き体操のお手伝いをしているね</p>	<p>○発表内容が比較しやすいよう，4枚の模造紙を中央に集める。</p> <p>○意見が出にくい場合は，人々の共通した</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・みんなやさしいよ ・だれかのために頑張っている ・楽しそうに仕事をしている ・おじいちゃんおばあちゃんや、子どもたちがすごしやすいように考えている。 	<p>思いやそれぞれ別の思いに気付かせるために、ピンクの付箋に着目するよう声をかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○2, 3人で相談をして、自分の考えを持てるようにする。 ○児童から出た意見について付箋を集めグループピングし、共通した思いや願いを視覚的に捉えやすくする。 ○些細な発見（2, 3人に共通することや友達の意見や発表内容から想像した意見など）でも、認めるようにし、発表しやすい雰囲気作りをする。 ○グループにまとまらなかったものも、その人が大切にしていることであることをおさえる。 <p>☆互いの発表した事柄を比べたり関連づけたりしながら、自分なりの考えを伝えている。【発言】</p>
<p>4. 振り返り</p> <p>○感想を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんな頑張っていてすごいと思った ・やさしくて嬉しくなった ・また行きたいと思った ・わたしも、○○さんみたいにがんばりたい 	<ul style="list-style-type: none"> ○似ている感想や、付け加えなどがないか確認しながら、指名していく。 ○「手紙を書きたい」「ありがとうを伝えたい」など地域の人へ自分たちがしたいことが出たら、次の学習へつなげていくようにする。

(3) 本時の評価

十分満足できると判断される 児童の具体例	概ね満足できるとされる 児童の具体例	支援を必要とする 児童への指導の手立て
友達の発表と自分の体験を関連付けて考えたり、友達の意見から連想して考えたりして自分の考えを伝えている。	会いに行った人同士を見比べながら、気付いたことを自分なりに伝えている。	会いに行った人のすてきを見ながら、似ているところや同じところがないか一緒に考える。

(4) 研究協議の視点

- ①イラストカードを活用したことは、児童が自分なりの思いをもつきっかけとなり、考えを伝え合うのに有効だったか。
- ②学習形態を工夫したことは、自然な対話を生むのに有効だったか。